

職員育成ニュース No.18

発行:2025年11月12日 /職員育成部事務局(部内資料)



【総会スローガン】

- 平和的生存権・人間の尊厳を守る立場で、国連憲章・国際法に反する暴力・戦争を止めるため行動しよう
- 大軍拡を止め、多様性の尊重・ジェンダー平等といのち第一の政治を実現するために、共同組織とともに、地域から人権・公正の波を起こそう
- 70年の歴史を力に、「ケアの倫理」を深め、「2つの柱」の全面実践で、「人権の塔」たる民医連事業所を守り、発展させよう

ご案内

学習会 対話で振り返る「ケアの倫理」café

11月14日(金) 9:30~11:30 講師:長久啓太さん

【共催】人権と倫理センター、医療部、介護福祉部、職員育成部、

「ケアの倫理」caféを通し、全国各地で様々な声や変化が生まれました。あらためて上記の各専門部の共催で、学習会を開催することとなりました。(全日本民医連11月各専門部会2日目)

「シリーズ『ケアの倫理』を深める」の執筆者である長久啓太さんとの対話で、学びを振り返ります。

民医連職員の方はどなたでも参加できます。録画も予定します。

※申し込み不要

【Zoom】 <https://us02web.zoom.us/j/89348274648?pwd=A0oAnLbgfa6sPkPxNdBgaKG23aRMa4.1>
ミーティング ID: 893 4827 4648 パスコード: 1114



ケアし、ケアされる職場文化の醸成を

社会保障が充実しなければ、充分なケアを提供することは出来ないと学んだ

<感想から>

- コロナ後より他者との距離を取りコミュニケーション不足を実感する日々が何年も続いています。他者に関心を持つことでケアが生まれる。ニーズに応えてこそ双方にケアをしている、されている実感が湧いてくるものと感じます。
- 民医連にとってたたかうとはケアそのものではないかとの記載があり、中途採用で民医連歴が浅い職員に説明するときにたたかうとは拳を振り上げることではなく人権を守ること(ケア)であると説明できると感じた。
- 民医連の活動は、医療を超えて人を大切にする「ケアの倫理」を体現していると感じました。弱い立場の人へ寄り添い、政治にもケアの視点を広げる姿勢が、より人間らしい社会を作る力になると思いました。
- 「全てのことが他人事ではない」と気付くことが出来るか否かがケアの倫理かも知れない。民医連ではたくさんの署名があるが、署名の向こうには自分や家族がいるかもしれないと、これからは思って取り組んでいくたいし、広めたい。

